

漁観連携の取り組み



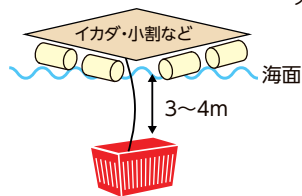
美しい海を未来へ

vol.4

鳥羽市・漁業と観光の連携促進事業（漁観連携）とは、鳥羽の基幹産業である漁業と観光業が連携を図り、漁業者と観光業者が抱える課題を出し合い、課題解決に向けた取り組みを実施することで、漁業と観光、ひいては鳥羽が元気になることを目的としています。

鳥羽市観光協会 ☎ 25 3019
鳥羽磯部漁業協同組合 ☎ 25 2358
観光課 ☎ 25 1155
農水商工課 ☎ 25 1167

Sea-farming Projects of
Abalone Seed by Inducement
in Pacchinkago



パッチンカゴを用いたアワビの産卵誘発による種苗放流

漁獲量減少の対策として、SPA S I P法があります。パッチンカゴにアワビの雌雄を入れ、イカダや小割などにつり下げることで、より多くの産卵を誘発する可能性があります。

アワビ漁獲量の推移



鳥羽は海女さんが日本一多いまちですが、近年、海女が主に収獲するアワビの漁獲量は著しく減少しています。

アワビ増殖・出逢いプロジェクト

アワビの天然種苗調査事業

SPA S I P法を実施することで多くの産卵誘発を期待していますが、実際に産卵増加の効果が得られたのかを検証する必要があるとしました。そこで今回新たに、カキ養殖で使用するホタテ貝のコレクターをアワビ向けに改良し、禁漁区などの海中に沈め、コレクターへのアワビ稚貝の付着を調査する「アワビの天然種苗調査事業」を実施しました。

本事業は、天然種苗の現状を確認するとともに、稚貝の生存率の向上も期待されます。

種苗調査結果

種苗調査には市長、副市長、漁業関係者、鳥羽市観光協会長、鳥羽市議会議員のみならず、に多数参加していただき、メディアにも多数取材していただきました。

調査の結果、アワビ稚貝の付着は確認できませんでした。多くのかたに関心を持っていただくことができました。今後引き続き調査を継続していきますので、ご期待ください。

アワビの天然種苗調査方法



コレクター作成

平成 29 年 11 月、稚貝を付着させるコレクターを作成しました。



コレクター完成

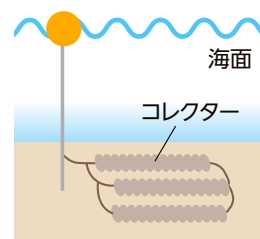
1組 75 枚のホタテ貝 3 組 (225 枚) を束ねたものです。



コレクター投入

漁協 7 支所 (各 3 か所) の海中へコレクターを投入しました。

※コレクター投入イメージ



水深 2m、6m、10m の 3 パターンで調査を実施



回収

平成 30 年 2 月、全てのコレクター (約 4,500 枚) を回収しました。



調査

稚貝の付着の有無を調査しました。



検討会

調査結果や今後について会議を行いました。